

「介助犬フェスタ 2019」ボランティア活動報告

2019年5月18日（土）、愛知県長久手市 愛・地球博記念公園内 地球市民交流センターにて開催された 社会福祉法人日本介助犬協会主催「介助犬フェスタ 2019」に2019年度入社の新人13名が会場のボランティアスタッフとして参加しました。

介助犬フェスタとは、介助犬についての認知と理解の拡大を目的とし、年に一度開催されているイベントです。今年は9回目の開催となり、約7,700名の方がご来場下さり、介助犬ペアの方やキャリアチェンジ犬とご一緒の方、愛犬を連れてご家族でお越し下さる方など、たくさんのワンちゃんと人で会場は賑わっておりました。

当社から参加したスタッフは、チャリティグッズの販売や車いす体験、オリジナル缶バッジづくりなど各ブースのお手伝いをいたしましたので、ボランティア活動の感想を紹介いたします。



【左：介助犬フェスタステージ】

【右：オリジナル缶バッジづくりブース】

各ブース担当のボランティアスタッフより

- ▶ 物販のスタッフとして参加しました。まず、犬を連れた多くの方がイベントに参加しており、犬を飼っている人の介助犬への関心の高さに驚きました。実際に介助犬とパートナーとなっている人のお話を聞いたところ、介助犬は生活の手助けだけでなく精神的な支えにもなっていることを知り、これまで以上に私も関心を持つようになりました。
- ▶ 実際に車椅子の体験をさせていただき、車椅子を扱う難しさや大変さを身を持って感じました。車椅子の方を見かけたときは、困っていることがないか今まで以上に気にかけて、積極的にお手伝いしていきたいと思います。
- ▶ 展示ブースの巡回及び呼び込みを担当しました。展示ブースでは、介助犬の訓練施設の10年間の歩みや、介助犬の認知度を上げることを目的とした様々な取り組みを知ることができました。他にも介助犬に適さないと判断された犬のサポート体制も整っていることがわかりました。以前、介助犬ユーザーだった車椅子のおばあさんとお話をしたのですが、どこか寂しげな、懐かしむような表情をされていたことが印象的でした。介助犬という存在は、何の誇張でもなく真のパートナーであり、かけがえのない存在であると感じました。



【車いす体験のブース】

感謝の集い&シンシアの丘見学ツアー参加者より

- ▶ シンシアの丘（介助犬訓練施設）見学ツアーでは、館長さんが館内を案内してくださり、中でも犬舎のことが特に印象的でした。犬はみんなおとなしく、人懐っこさを感じました。訓練施設と聞いていたので、少し汚い場所を想像していましたが、館内はとても清潔でした。訓練センターのボランティアの方が犬のシャンプーや館内の掃除などをされているということで、多くのボランティアの方たちに支えられているそうです。私もこれから、些細なことでも貢献できればと思いました。
 - ▶ 感謝の集いとシンシアの丘を見学させていただきました。感謝の集いは、新たに誕生した二組のペアの紹介と、協会の皆様から日頃の支援に対する感謝の言葉や活動報告でした。介助犬がいかに重要であるかということ、多くの方が介助犬を必要としているということが伝わってきました。自分も何か支援したいと思い、心ばかりではありますが、社内の自動販売機（介助犬支援の寄付金付）を積極的に利用していこうと思いました。
- 一つの介助犬訓練施設では訓練できる頭数に限界があります。一人でも多くの方が介助犬のユーザーとなれるように、私たちの支援が必要だと改めて実感しました。



【左：聖マリアンナ医科大学病院 二代目勤務犬モリスと一緒に】 【右：C I J ボランティアスタッフ一同】

C I J は、これからも介助犬の普及促進と育成支援を積極的に推進していきます。

<以上>